

ニュースリリース

ウエストグループはSDG sの活動を推進します。

ウエストグループ、広島大学と「ソーラーシェアリング共同研究講座」を開設

株式会社ウエストホールディングス

株式会社ウエストホールディングス（以下、ウエストグループ）は、2020年10月1日付で、国立大学法人広島大学（以下、広島大学）との共同研究講座として広島大学大学院統合生命科学研究所内に「ソーラーシェアリング共同研究講座」を開設しました。

農地に支柱を建てて上部空間に太陽光発電設備を設置する営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）システムは農地の利用促進を図るとともに、SDG sに貢献する最も有力なスマート農業のひとつとして期待されています。「ソーラーシェアリング共同研究講座」では、農地に設置した太陽光パネルの下で栽培した農作物の収量、品質の調査を行い、その結果に基づいて、ソーラーシェアリングに適した農作物を選抜し、営農型太陽光発電による高収益農業システムの構築を目的としています。

ウエストグループは、農林中央金庫と再生可能エネルギー発電の活用によるJA組合員の所得向上等を目的とした提携契約を締結し、広島県内においては、広島中央農業協同組合（JA広島中央）とビジネスマッチング契約を締結し、JA組合員の方々へのソーラーシェアリングの推進を行っています。また、環境省の営農型等再生可能エネルギー発電自家利用モデル構築事業に採択された広島県安芸高田市において完全自家消費モデルの「水耕ネギハウスへの電力供給のための営農継続型太陽光発電事業」の設計・建設をするなど、県内での営農型太陽光発電の推進に取り組んでおります。

このような取り組みに、農作物の収量や品質に対する調査結果を提供することが、農家の方々への営農型太陽光発電の設置の不安解消となり、所得向上、地域での再生可能エネルギーの推進につながるものです。

国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」等、社会や地域の持続可能な発展に向けた取り組みが進展し、企業が地域における課題解決への期待も高まっています。ウエストグループでは、CO2フリーの発電所作りや自家消費モデルの太陽光発電などで、地球環境保護への貢献を目指してまいります。



\* 広島大学 試験圃場の様子 (2020年10月23日)



\* JA 広島中央で多く栽培されている茄子、白ネギ、白菜を栽培中

(お問合せ)

株式会社ウエストホールディングス 広島本社

電話：082-503-3900